

NEWS RELEASE

平成 21 年 4 月 30 日

成田豊・電通最高顧問が、旭日大綬章を受章

株式会社電通の成田豊・最高顧問（元社長・前会長、79 歳）は 4 月 29 日、平成 21 年春の叙勲で、旭日大綬章の受章が決定した。

これは、多年にわたり広告業に携わり、電通社長として社業の発展に貢献し、社団法人日本広告業協会理事長・会長ならびにアジア広告業協会連盟の初代会長として業界の発展に尽力したことに加え、社団法人経済同友会副代表幹事等の要職を務めて産業界の発展に寄与したこと、また、地上デジタル推進全国会議幹事会座長ならびに地上デジタル放送国民運動本部副本部長として地上デジタル放送の完全移行に向けた取組みに貢献したこと、証券取引所のあり方等に関する有識者懇談会座長としてわが国証券取引所の国際的地位の向上に貢献したこと、観光立国推進戦略会議座長代理としてわが国の観光振興に貢献したこと、行刑改革会議座長代理として監獄法の全面改正等に貢献したことなど、広範囲な分野における行政運営の円滑化に寄与したことが評価されたものである。

電通社長では戦後、吉田秀雄・四代（勲二等瑞宝章）、日比野恒次・五代（勲二等旭日重光章）、中畑義愛・六代（勲二等瑞宝章）、田丸秀治・七代（勲二等旭日重光章）、木暮剛平・八代（勲一等瑞宝章）に続いて、九代社長の成田豊が六人目。旭日大綬章を受章するのは、成田最高顧問が初めてである。

5 月 8 日、宮中で行われる親授式において、天皇陛下より勲章が授与され、麻生太郎内閣総理大臣より勲記が伝達される。

〔成田豊最高顧問の受章コメント〕

旭日大綬章という栄えある章を受章できたことは、誠に名誉なことであり、心より嬉しく存じております。今回の受章は広告界と社業の発展にともに励んでくださった諸先輩、同僚、後輩の方々のお陰であり、皆さんを代表していただいたものとして、喜びを分かち合いたいと思います。また、様々な立場から私を支えてくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。今後ともわが国の広告産業、ひいては経済、社会の発展にいささかなりともお役に立てるよう、引き続き微力を尽くして参る所存です。

以上